

デルの「SQL Server 高速化コンサルティングサービス」で“爆速”の“勘定奉行サーバー”を実現

東京共同会計事務所では、受託した約 3,000 社の財務・経理情報を管理する会計システムの性能向上を目的に、デルが提供する「SQL Server 高速化コンサルティングサービス」を活用。データベースチューニングの実施と、「爆速メモリストレージサーバー」の採用により、劇的な性能改善を実現した。



 東京共同会計事務所

専門サービス

日本

ビジネス課題

東京共同会計事務所 フィナンシャル・ソリューション部は、資金調達や投資家への収益配分を目的に設立された特別目的会社を中心に、約 3,000 社の財務・経理業務を受託している。年平均 200 社以上もの新規取引がある中、財務・経理情報を管理する会計システム「勘定奉行」の処理性能が遅くなり、業務に支障をきたすという課題を抱えていた。

ソリューション

- ハードウェア
 - 爆速メモリストレージサーバー（PowerEdge R740xd）
- サービス
 - SQL Server アセスメントサービス
 - SQL Server 高速化コンサルティングサービス
 - SQL Server 移行支援コンサルティングサービス

導入効果

- 適切なデータベースチューニングを実施し、処理性能を大幅に改善
- 爆速メモリストレージサーバーを導入し、ハードウェアの基本性能を強化
- 必要なデータ取得までにかかる時間が 40 秒から 15 秒へと高速化
- 起動速度に関する利用者クレームが激減
- コンサルタントのアセスメントによる現状 (AsIs) の可視化
- インフラ基盤として、5 年後を見越したハード性能を引き出せるような設計と SQL Server チューニング
- コンサルタントとの協議による移行時の最小ダウンタイムを考慮した移行計画策定

40 秒から
15 秒へ

データ取得にかかる時間が
40 秒から 15 秒へ



クレーム 0 件

ユーザーからの
起動速度クレームが激減



東京共同会計事務所のフィナンシャル・ソリューション部は、資金調達や投資家への収益配分を目的とする特別目的会社（SPC：Specific Purpose Company）の設立、および運営管理業務の受託といったサービスを提供している。運営・管理する現行の社数は約 3,000 社。毎年平均 200 社との新規取引が始まるなど、その数は右肩上がりが増えてきている。

そんな約 3,000 社の財務・経理情報はすべて、所内のサーバールームで稼働するオービックビジネスコンサルタント（OBC）の会計システム「勘定奉行」で管理されている。そのため会社数が増えるにつれて処理性能が遅くなり、次第に各社を担当する所内スタッフの業務に支障をきたすようになっていった。

この課題を解決するために、東京共同会計事務所 システム・ソリューション部はクライアント PC の最新化やネットワークの構成を見直すなどの性能改善に取り組んだ。しかしながら想定していた効果が得られず、追加の施策を講じることにした。その施策として選択したのが、デルの「SQL Server 高速化コンサルティングサービス」と爆速メモリストレージサーバーだった。

SPC の業務を支える

東京共同会計事務所は、東京・丸の内にオフィスを構える国内有数の総合型会計事務所だ。1993 年の創業以来、ファイナンス分野を中心に会計・税務、財務に関する専門性の高いコンサルティング事業を展開してきた。現在は M&A や組織再編、ストラクチャード・ファイナンス、企業再生、事業承継、資産税や国際税務など、企業のニーズに網羅的にこたえるサービスを提供しており、日本国内だけでなくアジア地域にも数多くの顧客を擁している。公認会計士、税理士、司法書士、行政書士、弁理士など有資格者のスペシャリストが 150 名以上も在籍し、高品質・高信頼のサービスを提供している点が大きな強みだ。

そんな東京共同会計事務所の部署の一つに、証券化や流動化に関する会計・税務案件を手がけるフィナンシャル・ソリューション部がある。創業以来の主要業務の一つであるピークル管理業務を担当する部署であり、金融機関や上場企業、機関投資家などが出資するプロジェクトをサポートしながら、SPC（特別目的会社）や各種組合の設立、および運営に必要な法務・資金管理・税務・会計などの業務を担当している。その実績は延べ約 6,300 社に及び、現在も約 3,000 社の業務を受託・担当しているという。

このフィナンシャル・ソリューション部の業務を支えているのが、オービックビジネスコンサルタント（OBC）の会計システム「勘定奉行」だ。東京共同会計事務所の情報システム全般を担当するシステム・ソリューション部 部長の海田雅人氏によると、1990 年代にスタンドアローン PC 版の「勘定奉行 98」を導入して以来、バージョンアップとシステム規模の拡大を重ねながら、およそ 20 年にわたって使い続けてきたそう。

「当事務所では、非常に多くの会社の業務を受託しており、そのすべてを勘定奉行で管理しています。過去において、国内外の ERP パッケージ製品に切り替える検討もしましたが、数千もの会社の財務・経理情報をマルチテナントで管理するという使い方に対応できる ERP パッケージ製品は他に存在しません。他の国内会計ソフトも 1,000 社程度が限界です。それに対し、OBC は当事務所の特殊な事情を勘案しながら、事業拡大に伴う機能強化に積極的に対応してくれました」（海田氏）。

このように現在も勘定奉行を使い続ける同事務所だが、業務を受託する会社数が増えるにつれて、ある課題が浮き彫りになってきた。それは、シス

「私たちが求めたのは、3,000 社分の会計処理をストレスなく稼働させる国内最速クラスの勘定奉行サーバーです。この要求に見事にこたえてくれたデルコンサルティングサービスの SQL Server チューニングの知見と技術力、そしてハードウェアの優秀さは、期待通りでした」

東京共同会計事務所
システム・ソリューション部
部長
海田 雅人氏

「SQL Server データベースの高速化と一口に言っても、私たちの環境はかなり特殊で目標をクリアするのは非常に難度が高く、試行錯誤を何度も繰り返していました。その難題を短期間のうちに解いてくれたデルのコンサルタントには本当に感謝していますし、デルがいなかったら、サーバー 1 台での高速化自体をあきらめていたかもしれません」

東京共同会計事務所
システム・ソリューション部
田辺 勇太氏

テムの動作が遅くなるというパフォーマンス面の課題だった。

会計システムの性能悪化が事業課題に

東京共同会計事務所では、所内のサーバールームに設置したオンプレミスのサーバー上で勘定奉行を稼働させている。しかし、業務を受託する企業数が年平均 200 社以上も増える中、次第にパフォーマンスの課題が表面化してきた。

「特に決算期が重なる毎年 3 月・12 月には業務負荷が集中して、システムの動作が遅くなり、業務を担当するフィナンシャル・ソリューション部のスタッフから苦情が寄せられていました。私たちシステム・ソリューション部でも、こうした性能面の課題を 4～5 年前から認識しており、パフォーマンス改善を目指したさまざまな施策を講じてきました」（海田氏）。

システム・ソリューション部が最初に取り組んだのは、ハードウェアインフラの見直しだった。高性能プロセッサと大容量メモリ、フラッシュストレージを搭載した最新サーバーに更改するとともに、事務所内のネットワークをギガビット化したという。

「システムのパフォーマンスを改善するために、まずはインフラを全面的に見直すことから始めたのですが、思うように性能が上げられませんでした。システムの動作が遅いのはどこかに原因があるはずなので、それを徹底的に究明することにしたのです」（海田氏）。

その原因究明に当たったシステム・ソリューション部 部長の海田雅人氏は、勘定奉行のデータベースにも問題があると確信していたという。

「当事務所が利用している『奉行 V シリーズ』は内部統制を効かすために、すべての操作ログをデータベースに書き込んでいます。そのため、データベースに相応の負荷がかかることは分かっていたのですが、その点を加味してもあまりにも動作が遅い。そこで、OBC にデータベースのチューニングを依頼するとともに、システム・ソリューション部でもツールを使ってデータベー

スのパフォーマンスを監視することにしたのです」（海田氏）。

勘定奉行では、データベースにマイクロソフトの「SQL Server」を採用している。そこで田辺氏は、SQL Server のパフォーマンス監視とチューニングで実績のあるクエスト・ソフトウェアの「Spotlight on SQL Server Enterprise」を導入し、データベースの稼働状況を可視化してパフォーマンス監視を行ったという。

「結果、得られたチューニングを奉行パッケージに適用可能かの確認と SQL Server のチューニングの専門家の意見をお聞きしたく、デルに相談を持ちかけたのです」（海田氏）。

データベースの高速化をデルコンサルティングがバックアップ

東京共同会計事務所とデルとは、サーバー/クライアント PC の導入や Exchange サーバーの更改を通じて十数年来の取引関係にあった。勘定奉行が稼働するサーバーもデル製品が使われている。また、SQL Server の監視ツールである Spotlight を導入した当時、クエスト・ソフトウェアがデルの傘下だったことも、デルに相談してみようとするきっかけになったという。

「デルに相談したところ『SQL Server 高速化コンサルティングサービス』を紹介されました。デルには、長年にわたって SQL Server を扱ってきた豊富な実績があり、卓越したデータベースチューニングのノウハウがあることを知り、すぐにデルにパフォーマンス改善をお願いすることにしました」（海田氏）。

東京共同会計事務所がデルに相談したのは、2017 年夏のこと。2018 年初めから SQL Server 高速化サービスの提供が始まり、約 2 カ月をかけて現状把握とアセスメントを実施したのち、データベースのチューニングと検証テストを繰り返した。主にデルがデータベースのチューニング手法を支援し、システム・ソリューション部が実際のデータベースに適用しながら検証テストを実施したという。



「デルコンサルティングチームとは毎週ミーティングを持ち、私たちが実際に手を動かしてチューニングとテストを実施しました」（海田氏）。

爆速メモリストレージサーバーがさらなる高速化を実現

東京共同会計事務所では、デルの SQL Server 高速化コンサルティングサービスによるデータベースチューニングに取り組む一方で、性能改善をより確かなものにするために、新しいサーバーへのリプレースも同時に進めることにした。サーバーについては、「現在入手可能なものの中で最速の製品」というリクエストをデルに出したという。

「旧来のシステムは、フィナンシャル・ソリューション部のスタッフが必要なデータを取り出せるようになるまでの画面表示に 30 ～ 40 秒の時間がかかっていました。特に決算期など業務が集中する時期には、この待ち時間が相当なストレスになっていたのです。そこでデータベースのチューニングを進めるのと併せて、サーバーをリプレースすることで 10 秒程度で必要なデータが取り出せる環境を目指したのです。そのため、デルには安定的に稼働する最速のサーバーを提案してほしいと依頼しました」（海田氏）。

依頼を受けたデルコンサルティングサービスでは、データベースワークロード用に最適化した「爆速メモリストレージサーバー」を提案した。サーバーには、2 ソケットのエントリーモデル「PowerEdge R740xd」を採用し、2つのインテル® Xeon® Gold 5122 プロセッサー（3.60GHz 4コア/8スレッド）と、768GB メモリ、6 基の 2.5 インチ 800GB NVMe SSD を搭載させた。2 ソケットのコア数の少ないモデルを採用したのは、SQL Server のライセンス費用を抑えるためだが、コア数の少ないモデルとはいえ、PowerEdge R740xd のデータベース処理性能は従来の「PowerEdge R720」を圧倒しており、OPM（Operations Per Minute：1分あたりのデータベース処理件数）で約 8 倍、IOPS（I/O per Second：1秒あたりのストレージ I/O 性能）も約 12 倍に高速化されている。

最小限の投資で最大限の効果を達成

東京共同会計事務所では、データベースチューニングと爆速メモリストレージサーバーの導入を 2018 年 8 月に完了させるスケジュールを立て、このタイミングで勘定奉行を従来の奉行 V8 から最新の V10 へバージョンアップすることにした。

「新サーバーへの切り替えと、奉行 V8 から V10 へのバージョンアップを同時並行で完了させるのは、スケジュール的に厳しいものでしたが、デルの手厚い支援もあって何とか乗り切ることができました」（田辺氏）。

こうして新しい会計システムは、当初のスケジュール通り 2018 年 8 月に本番稼働を開始した。移行後は、ユーザーであるフィナンシャル・ソリューション部のスタッフからの評判も上々で、速度に関するクレームも激減した。

「新しい会計システムは最小限の投資で最大限の効果が達成されたと評価しています。フィナンシャル・ソリューション部のスタッフが感じていたストレスを緩和できたとともに、システムのリソースにも余裕ができ、今後 4 ～ 5 年は使い続けることができます。システムの動作が安定的に高速化しました」（海田氏）。

懸案だった会計システムの課題を解決した東京共同会計事務所ではその後、クライアント PC 約 200 台のリプレースを順次進め、Windows 10 を搭載したデルの最新機種への切り替えを 2019 年 3 月に完了させている。今後はファイルサーバーの更改を控えており、引き続きデルのサーバーを導入する計画だという。

今回の SQL Server 高速化コンサルティングサービスを利用した東京共同会計事務所では、デルがサーバーやストレージ/クライアント PC を提供するだけのハードウェアベンダーではなく、エンタープライズシステムの課題を解決するテクノロジーパートナーだと改めて認識したという。今後もデルのソリューションとコンサルタントが同事務所のビジネスを支え続ける。



東京共同会計事務所
システム・ソリューション部
部長
海田雅人氏



東京共同会計事務所
システム・ソリューション部
田辺勇太氏

ユーザ導入事例ウェブサイトにて、他にも多くの事例をご覧ください。 www.dell.co.jp/casestudy



Dell EMC の
サーバーソリューションの
お問い合わせ



専門スタッフへの
お問い合わせ



お客様導入事例の一覧は
こちらから



この記事を共有する